

令和3年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

[音楽療法コース]

到達目標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

(1) 対象者の年代に合った曲を提供できその時代背景についての知識を修得する。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。

(1) 音楽療法の活動目標について論理的に計画および説明ができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

(1) 治療目的に沿った実践を関連職種と連携して行い記録することができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

(1) 常に学び続ける姿勢を持ち地域福祉に貢献する意欲を持つことができる。

① [知識・理解]

② [思考・判断・表現]

③ [技能]

④ [関心・意欲・態度]

1年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
基礎科目	前期	ヴォーカル I	△	○	◎	○
		ソルフェージュ I	○	○	△	△
		音楽理論 I	○	○	○	△
		鍵盤楽器 I	○	○	○	○
	後期	ヴォーカル II	△	○	○	○
		ソルフェージュ II	○	○	△	△
		音楽理論 II	○	○	○	△
		鍵盤楽器 II	○	○	○	○
専門科目	前期	音楽療法入門	○	○	○	○
		音楽心理学	○	○	△	○
		発達心理学口	○	○	△	○
		子どもの保健口	○	△	△	○
		音楽療法実践 I	○	○	○	○
		教育原理口	○	○	○	○
	後期	音楽療法演習	○	○	○	○
		音楽療法・基礎	○	○	△	○
		音楽療法実践 II	○	○	○	○
		音楽史 I	○	○	○	○
選択科目	前期	グレード対策 A(ピアノ) I	○	○	○	○
		グレード対策 B I	○	○	○	○
		グレード対策 A(電子オルガン) I	○	○	○	△
		グレード対策基礎 I	○	○	△	○
		サウンドメイク I	○	○	○	○
		伴奏法(P)	△	○	○	○
		スポーツ・レクリエーション I	△	○	○	○
		音楽史 II	○	○	○	○
	後期	グレード対策 A(ピアノ) II	○	○	○	○
		グレード対策 B II	○	○	○	○
		グレード対策 A(電子オルガン) I	○	○	○	△
		グレード対策基礎 II	○	○	△	○
		サウンドメイク II	○	○	○	○
		音楽総合特講 I	○	○	△	○
		スポーツ・レクリエーション II	△	○	○	○

2年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
専門応用科目	前期	音楽療法・臨床口	○	○	△	△
		音楽療法実践Ⅲ口	○	○	○	○
		和太鼓 I	○	△	○	△
		社会福祉	○	○	△	△
		卒業論文 I	○	○	○	○
		臨床における即興技法口 I	○	○	○	○
		臨床実習（事前・事後指導を含む）口	○	○	○	○
		特別支援教育口	○	△	○	○
選択科目	前期	音楽療法・技法口	○	○	△	○
		音楽療法実践IV口	○	○	○	○
		和太鼓 II	○	△	○	△
		社会福祉	○	○	△	△
		卒業論文 II	○	○	○	○
		臨床における即興技法口 II	○	○	○	○
		鍵盤楽器III	○	○	○	○
		演奏グレード対策(ピアノA) III	○	○	○	○
	後期	演奏グレード対策(ピアノB) III	○	○	○	○
		演奏グレード対策(電子オルガン) III	○	○	△	○
		指導グレード対策 A III	○	○	△	○
		指導グレード対策 B III	○	○	○	○
	後期	和声学 III	○	○	○	○
		ソルフェージュ III	○	○	△	△
		音楽総合特講 II	○	○	△	○
		ピアノ指導法	○	○	△	○
		楽曲研究	○	○	○	○
		作譜	○	△	○	△
		プレイヤー演習 II	○	○	○	△
		生涯スポーツ I	△	○	○	○
		鍵盤楽器 IV	○	○	○	○
		ピューラー音楽史	○	△	△	○
		演奏グレード対策(ピアノA) IV	○	○	○	○
		演奏グレード対策(ピアノB) IV	○	○	○	○

□印は資格必修だが卒業必修ではない